

教材名	はがきを作ろう	紹介者	酒井 雄一
<p><b>【準備するもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳パック ・紙すきセット（紙すき枠、金網などがセットになったもの）</li> <li>・ミキサー ・バケツ ・タオル ・アイロン又はホットプレート</li> </ul> <p><b>【手順】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 牛乳パックを洗い、開く。2～3 日水にひたしてから、表面及び裏面のフィルムをはがす。</li> <li>② ①を細かくちぎる。ちぎったものと水をミキサーで混ぜ、ドロドロの状態（パルプ）にする。</li> <li>③ ②を紙すきの枠に流し入れる。指でならして平らにする。</li> <li>④ ③を枠から外し、タオルで挟み水気をきる。</li> <li>⑤ ④をアイロン（中温）やホットプレートで温めて乾かす。 または、フライバッドなどの平らな板の上で乾かす。</li> </ol> <p>* 乾かし方は、時間や児童生徒の実態に合わせて決めるとよい。 * 支援として、手順を示したカード（Fig. 1, 2）を作成するとよい。</p>			<p>Fig. 1, 2 手順を示したカード</p>
<p><b>教材の紹介</b></p>	<p><b>【紙すきについて】</b></p> <p>牛乳パック等から紙を作ることができる。牛乳パックは、給食や家庭で飲んだものを用いることで身近な素材である。手順②の細かくちぎる作業は、手先の訓練になる。また、手順③の流し入れるパルプの量を算数の容積の学習と関連付けることができる。</p> <p><b>【手順を示したカードについて】</b></p> <p>特別支援学級の児童生徒には、次に自分がすることを把握していないとパニックに陥る子どもがいる。そのため、紙すきの手順を段階に分けて示した。</p>		
<p><b>製作・ 入手方法等</b></p>	<p><b>【紙すきについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳パック …主に給食の牛乳パックを用いた。しかし、薄いためフィルムをはがすのが困難であった。厚めの紙パックを用いたほうがはがしやすい。</li> <li>・紙すきセット…ホームセンターなどで購入可能である。</li> </ul> <p><b>【手順を示したカードについて】</b></p> <p>児童生徒の実態に合わせて、手順を細分化してもよい。上に示した Fig.1,2 では9段階に分けてある。また、視覚的にとらえやすくするため、写真を主とした説明にした。</p>		
<p><b>子どもの 反応等</b></p>	<p><b>【紙すきについて】</b></p> <p>身近な牛乳パックから紙ができることに驚いていた。また、絵の具を混ぜて色のついた紙も作成した。入院していた友達に暖かい手紙を送ることができた。</p> <p><b>【手順を示したカードについて】</b></p> <p>手順カードを見ながら、落ち着いて作業を進めることができた（Fig.3）。</p>		

Fig. 3 カードを見ながら作業する児童